

事後評価の結果及び決定した対応方針

事業名	結果および対応方針
北関東自動車道 (高崎～伊勢崎)	- 北関東自動車道 高崎 JCT～伊勢崎間の直接便益（時間短縮・経費節減・事故減少）を対象とした現時点の費用便益比は1.0を上回る - バス路線の利便性向上、観光の活性化、救急医療活動の支援、災害活動の支援など、様々な整備効果を確認。 ↓ <対応方針> - 費用対効果分析の結果や利用状況、事業の効果発現から一定の整備効果が得られており、今後の事業評価の必要性はないものと考える。 - なお、今回は部分開通であり、北関東道全線開通後、現在の利用状況に変化が生じるため、今後は部分開通ごとの事後評価は実施せず、北関東道全線開通後に全線をまとめて事後評価する。
北関東自動車道 (栃木都賀～宇都宮上三川)	- 北関東自動車道 栃木都賀 JCT～宇都宮上三川間の直接便益（時間短縮・経費節減・事故減少）を対象とした現時点の費用便益比は1.0を上回る - バス路線の利便性向上、観光の活性化、救急医療活動の支援、災害活動の支援など、様々な整備効果を確認。 ↓ <対応方針> - 費用対効果分析の結果や利用状況、事業の効果発現から一定の整備効果が得られており、今後の事業評価の必要性はないものと考える。 - なお、今回は部分開通であり、北関東道全線開通後、現在の利用状況に変化が生じるため、今後は部分開通ごとの事後評価は実施せず、北関東道全線開通後に全線をまとめて事後評価する。